

# 校友会報

中央学院校友会本部

〒136-0071 江東区亀戸 7-65-12

中央学院大学中央高等学校

TEL (5836) 7 0 2 0

毎年1回発行

誠實に謙虚に生きよ  
 暖かい心で人に接し  
 奉仕と感謝の心を忘れな  
 常に身を慎み反省を  
 研鑽を怠れるな

校友会長のあいさつ



校友会会長

佐藤 昌信

今、どこへ行っても新型コロナウイルスの話題で一杯です。最近はいルスの変異が更に進み、オミコロナとう名前に変えて感染が拡大し、脅威が広がっています。日本という有利な地の利を活用して、水際作戦の強化を図り、何とかして止めたいものです。そうした中で、会員の皆様には、自粛をはじめとする社会生活での数々の制約を乗り越えてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、この新型コロナウイルス感染拡大の期間は実に一年半にも及び、校友会にあっても、正式な総会による決算報告も予算案の提示もできず、役員による協議・決定のみで暫定的な措置とっています。一方、創立120周年の記念行事をはじめとする周年行事は、学校・PTA・永代会の四者の協力の中で、スムーズな議論が進み、記念誌の作成や記念品の決定が出来ました。

また、玄関の正面には、垂直幕施設を周年行事の記念品として寄贈しました。いずれの時期には、その場所に『祝・第98回 東京箱根間往復大学駅伝競争 出場』や『祝・第52回 明治神宮野球大会 優勝』なる文字が翻り、学生ばかりでなく、近

隣マンション住民、大型スーパーへの買い物客の他に、道行く人にも学校の存在感を伝えることが出来るものと考えています。

課題の多くが進行してはいるものの、祝賀会の開催などの一部が手つかずのままになっています。三密を避ける意味での会議が思うように開催できない状態が続いていますので、非常に窮屈な状態にあります。

一方、学校での周年行事については、記念式典を会場と各教室をつなぐオンラインを駆使して生徒全員が参加できるかたちで進行することが出来ました。

さて、我が母校には財政再建という重大な難題が横たわっています。長きにわたり赤字財政が続き、このまま放置すれば閉校という最悪の事態を迎えるという現実の問題があります。言葉を換えて言えば、「我が母校がいつ潰れてもおかしくない」というのが現状です。現在、法人が中心になって再建のための取り組みを行っています。その中心となって奮闘しているのが、校友会会計理事の梅津氏です。複数の再建案から「学校存続」という、最も難しい課題を選び検討を重ねていることから、理事会の中でも紛糾する事がしばしばです。これまでは大学が補填しながら、最悪の事態を避けてきましたが、

この学校でも緊急の課題に取り上げている18歳以下の人口減という

ことを考えれば、いずれも、台所は火の車で、苦しいところがあります。そのためにも、中央高校が自らこの問題を解決する気構えが無くてはなりません。中でも、校長や教頭を含めた先生一人一人の自覚が大切です。残されて時間はそれほどありません。長年、赤字財政を放置したまま慣れ親しんだ環境を変えることは至難の業ですが、こうした機会に財政健全化に向けた行動を力強く起こし、前に一歩一歩進むことが無ければ、問題解消の道のはますます遠のくばかりです。子供たちの夢を与えることがあっても、夢を取り上げることがあつてはなりません。

目標の見えない時こそ、私学における建学の精神の存在は何事にも強い味方になります。

我が中央学院には、創設者である高楠順次郎博士が唱える建学の精神が120年の時を刻みながら、脈々と語り継がれています。

誠実に謙虚に生きよ  
 暖かい心で人に接し  
 奉仕と感謝の心を忘れな  
 常に身を慎み  
 反省と研鑽を怠れるな

最後に中央高等学校の皆様の一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

校友会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

## 新理事長の言葉

— 世紀を越えて、つながる伝統 —



（学）中央学院  
第十一代理事長  
椎名 市郎

### 挨拶

年末を締めくくる「校友会報」第75号の発刊、おめでとうございませう。こうして長きに亘り、会報の伝統を継承・発展くださっている役員の皆様へ感謝を申し上げます。また、今般、投稿の機会を与えて頂きましたことに、御礼を申し上げます。

私、椎名市郎（しいな いちろう）は、令和2（2020）年12月1日理事会において、佐藤昌信当時理事長（現法人顧問、校友会会長）を始めとする理事会の皆様のご推挙を拝し、第十一代理事長に就任を致しました。

### 回顧

121年（明治33（1900）年創立）の伝統を有する学校法人中央学院は、佐藤昌信前理事長までは

法人の母体である中央商業高（学）校出身の大先輩が、艱難辛苦を乗り越え、今日の発展の礎を築いて下さいました。今般、中央学院大学出身者が大役を仰せつかることに対し、その責任の重さに身が引き締まります。

ご承知のように、我が法人は、明治33（1900）年、東京の中心・日本橋に「日本橋簡易商業夜学校」を設立、その後、中央商業学校、中央工業学校、中央高等学校、さくら幼稚園、中央中学校、中央商業高等学校、中央商業高等学校通信制、中央商科短期大学、徳山大学設立などを経て、現在は中央学院大学、中央学院大学中央高等学校、中央学院高等学校を擁しております。

### 精神

「中央学院」の『中央』は、社会の中心・中央を志向する創立者の一人、高楠順次郎博士の強い意識の表れと伝えられています。物事の本質を右か左かという偏向を退け、多くの異質なもののなから共通するところを探りあて、社会の中心となる合意形成や真理を探究する「中庸」

の精神が込められています。

建学時の教育理念も、日本人としての仏教倫理教育（徳目主義）と西欧の近代思想を背景にした実学教育（実利主義）の融合（中庸）にありました。この伝統を引き継いで、中央学院大学は、大学院商学研究科（修士課程）、商学部、法学部、現代教養学部が開設されています。創立時の中庸の精神は、現在の「公正な社会観と倫理観の涵養」という大学の建学の精神に引き継がれ、大学は56年目の充実期に入りました。

### 連携

また、大学の母体となる中央学院大学中央高等学校は、佐藤昌信理事長の下、令和2（2020）年創立120周年記念式典が挙行されました。同様に中央学院高等学校においても、令和2（2020）年設立50周年記念式典が行われました。大学と二つの付属高校の教育連携も、市川仁学長と大橋治久・横田一弘両校長との間で定期的に開催される「学校長会議」で意見交換がなされ、理事会に対し教育提言する環境が整っています。

### 展望

それにしても、人間の絆を裂き、社会に悲しみと混乱を引き起こしたコロナ禍にあつて、私たちは智慧と科学の力を駆使して、これを超えるようとしています。多くの犠牲の上に形成される新しい社会（ニューノーマル）では、いかなる場面でも教育の歩みを止めない、困難に打ち勝ち生きる力の養成が問われています。これこそが、世紀を越えて法人が目指す教育でもあります。

現在、令和7（2025）年「法人創立125周年記念事業」の企画草案作りを進めております。121年続く理念の継承とその理念を進化・発展させるべく、「世紀を越えて、つながる伝統」(法人100周年記念の標語)の旗印の下、一層邁進してまいりますので、ご支援をお願い申し上げます。

令和3（2021）年10月1日



中央商業学校  
初代校舎「三層楼」



中央学院 100周年  
大学記念館



高橋順次郎先生筆の掛軸4幅(稚名市郎理事長所蔵)をご紹介します。  
(現代語訳協力…長良川画廊)



△原文▽

挙世界於片掌萬即無反動之想 演法性於一音衆生有隨類之悟  
雪下無摺道人 高橋順成 録

△訳▽

全世界を片手に握ってみれば、すべてのものが背反することはない  
真実の教えを一言で表現すれば、人々はそれぞれに真理を悟ることができる  
雪下無摺道人 高橋順成 録



△原文▽

伽耶塔畔幾經過 千古遺踪感歎多 更擬覺山拜尊影 象王背上渡禪河  
八葉峯中 雪頂順 △梵字▽

△訳▽

仏陀伽耶の仏塔のあたりを何度も行ったり来たりする  
二千年以上昔の仏教遺跡にただただ感動する  
更に正覚山(㊦)出家した釈迦が修行した山を凝視して仏の尊影を拝する  
象の背に乗って尼連禪河(㊦)釈迦が沐浴した川を渡る  
八葉峯中にて 雪頂順



△原文▽

雪山文物此現存 兼信仏天風偽敦 梵本集成三百莢 經題録去拜師恩  
八葉峯中 雪頂順 △梵字▽

△訳▽

釈迦が説法した印度の雪山の文物(㊦)仏法の教えが現存している  
かねて仏の加護を信じている者にとつて風はいよいよ教(あつく)く仏法に励む  
梵語の典籍を集成すること三百箱を教えた  
經典の題名を記録している 今更ながらに仏の恩が思われる  
八葉峯中にて 雪頂順



△原文▽

一真法界本無内外  
八葉峯中 雪頂 △梵字▽

△訳▽

ただ一つの真実の法の世界には、本来、内と外、表と裏、真と仮といった  
二項対立はなく、ただ一体である  
八葉峯中にて 雪頂

## 就任のご挨拶



中央学院大学  
中央高等学校

校長 大橋 治久

校友会の皆様には、日頃よりご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

歴代の校長先生が築かれた伝統を受け継ぐとともに、二十世紀にむけた教育学習体制の整備と学校の発展に結びつけるという重責を担うこととなりました。

令和二年に創立120周年を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言の発出の最中ではありましたが、生徒の半数は式典に参加し、もう半数は教室でリモート参加として実施することができました。これも校友会、永代会、PTAのご支援、ご協力のお蔭でございます。深く感謝申し上げます。

1900年の創立以来、建学の精神『誠実に謙虚に生きよ 温かい心で人に接し 奉仕と感謝のこころを忘れるな 常に身を慎み反省と研鑽を忘れるな』の下、本校は倫理観を持った誠実な人間の育成を指導理念として、教育活動を行ってまいりました。また、120年を超える歴史と伝統の中で、温かく家庭的な校風を一貫して持ち続け、小規模校として生徒一人ひとりと

向き合えるよう、きめ細かな対応を心がけてきました。

現在は、グローバル化・情報化・少子高齢化など社会の急激な変化に伴い複雑化する諸課題への対応が必要となつてきました。学校教育においては、これからの社会を生き抜く力を育成するため、様々な活動を通じて、「思考力・判断力・表現力」の育成、国際的視野を持ち、他者と協働することのできる人間力が育まれるよう求められています。

本校では、平成二十九年よりタブレットを導入。学習支援システム、動画配信など自宅学習のサポート。グループディスカッションなど、コロナ禍においてもできる工夫をし、コミュニケーション能力を向上させる授業の展開を図っています。

ICTを活用することにより、これからの社会に対応した「情報を生かし、判断し、自ら考えていく力」を強化していきたいと考えております。

教員がこうした課題に対応できる専門的知識・技能の向上を目指し、生徒を支援していく所存でございます。今後とも、校友会の皆様方のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

(写真は、120周年記念式典の様子です。来賓として、PTA会長・PTAOB永代会長・校友会長の3名だけです。壇上は佐藤昌信校友会長のお話します。)



2021年11月30日の  
顕彰 柵



120周年記念で学校に寄贈された  
顕彰 柵 2021年4月完成

令和3年度  
**定時評議員会  
及び懇親会  
の中止**

令和3年度の定時評議員会及び懇親会は新型コロナウイルス感染症の第5波の影響による政府の緊急事態宣言により中止いたしました。  
令和2年度の会務報告・収支決算書・監査報告 令和3年度の事業計画・収支予算書をのせます。

令和2年度  
**会務報告**

**\*令和2年\***  
入学式について、新型コロナウイルス感染症拡大により4月に行うものはすべて中止となり、中央高校入学式のみ6月2日に午前・午後に分け縮小して挙行された。

**理事会・定期評議員・懇親会等中止**  
決算監査は、梅津会計理事より、秋山・石田監事に証拠説明書・決算案等郵送により監査して頂きました。  
12月27日 ミニ納会 (浦安)  
(幹部5人により行う)

**\*令和3年\***  
四者合同新年会 中止  
2月9日 創立120周年記念式典

中央高校体育館で挙行し、各会長のみ列席した。

3月6日 中央高校謝恩会  
3月7日 中央学院高卒業式  
3月20日 中央学院大学  
学位記授与式

卒業式等は人数制限・時間短縮などにより縮小して行った

創立120周年記念式典準備委員会及び記念史発行委員会の報告

2019年11/29 (金) に1回目を  
② 2020年1/10 (金) ③ 2/7 (金) ④ (火) ⑤ 7/7 (火) ⑥ 9/7 (火) ⑦ (金) ⑧ 10/27 (火) ⑨ 11/20 (金) ⑩ 12/18 10/9 3/10 (金) 以上10回です。  
PTA・永代会・校友会・学校にて協議を致しました。

令和3年度  
**事業計画**

- 一、評議員の活性化をはかる
- 二、会費の増収につとめる
- 三、会報の年一回制作を実行する
- 四、在校生、学校との連絡を強化する
- 五、中央学院学友会校友会連合協議会と連絡を密にする
- 六、委員会活動を活性化させる
- 七、ホームページの充実をはかる
- 八、120周年記念品の寄贈

令和3年度  
**校友会役員名簿**

役職	卒期氏名
会長	55 佐藤 昌信
副会長	59 谷本 弘郎
	60 白石 勝弘
	62 平川 憲一
	62 中野 淳一
	66 中島 伸一
専務理事	66 梅津 修
会計理事	65 樋口 やい子
常任理事	62 高島 有美子
	78 大橋 治久
	79 大野 真人
	83 金子 由信
理事	65 青木 廣則
	79 上森 健司
	81 藤掛 晃浩
	84 設楽 治樹
	90 柳 徳徳
監事	54 秋山 正夫
	61 石田 高幸
	61 村尾 幸夫
相談役	42 山崎 正明
	50 吉野 賢治
	51 佐藤 義則
	51 寺嶋 昭雄
名誉会長	55

令和2年度  
**監査報告**

54期秋山正夫・61期石田高幸両監事より令和3年6月18日付けで令和2年度の収支決算書が適正であるの報告をうけました。  
監査については、昨年同様、64期梅津修会計理事より、郵送にて証拠説明書、決算書案を提示し、監査を行いました。





## 令和2年度 収 支 決 算 書

自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

収入の部			支出の部				
	決算	予算	差異		決算	予算	差異
会 費 収 入	2,785,000	2,750,000	45,000	評 議 員 会 費	0	300,000	△300,000
寄 付 金 収 入	2,200,000	10,000	2,190,000	会 報 等 印 刷 運 賃 費	145,134	450,000	△304,866
				同 期 会 補 助	0	30,000	△30,000
				同 好 会 補 助	0	30,000	△30,000
				奉 養 費	60,000	60,000	0
雑 収 入	1,384	20	1,364	慶 弔 費	0	100,000	△100,000
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	0	60,000	△60,000
				中 央 学 院 連 合 協 議 会 々 費	0	10,000	△10,000
				委 員 会 活 動 費	0	100,000	△100,000
				新 入 生 卒 業 生 記 念 品	412,005	400,000	12,005
				学 校 設 備 補 助 金	0	100,000	△100,000
				学 校 一 般 寄 付 金	0	100,000	△100,000
				雑 費	13,132	50,000	△36,868
				予 備 費	0	100,000	△100,000
				履 年 奉 養 費	2,461,185	5,000,000	△2,538,815
経 営 収 入 計	4,986,384	2,780,020	2,206,364	経 営 支 出 計	3,081,456	6,890,000	△3,798,544
基 本 財 産 運 用 収 入	48,608	49,000	△392	基 本 財 産 組 入 支 出	0	0	0
前 年 度 繰 越 金	5,873,643	5,873,643	0	次 年 度 繰 越 金	7,827,149	1,792,663	6,034,486
計	10,918,605	8,682,663	2,235,942	計	10,918,605	8,682,663	2,235,942

会費収入につきましては、平成28年度新入生から入会金10,000円、卒業時に会費として10,000円を徴収することになりました。  
会費収入につきましては今年度入学者151名+卒業生106名の会費収入がございました。  
寄付金収入につきましては、未代金より600,000円 PTAより1,600,000円、計2,200,000円のご寄付をいただきました。

## 令和3年度 収 支 予 算 書

自 令和3年 4月 1日  
至 令和4年 3月31日

(単位：円)

収入の部			支出の部				
	予算	前年度予算	差異		予算	前年度予算	差異
前 年 度 繰 越 金	7,827,149	5,873,643	1,953,506	評 議 員 会 費	300,000	300,000	0
会 費 収 入	3,630,000	2,750,000	880,000	会 報 等 印 刷 運 賃 費	450,000	450,000	0
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	同 期 会 補 助	30,000	30,000	0
雑 収 入	20	20	0	同 好 会 補 助	30,000	30,000	0
				奉 養 費	60,000	60,000	0
				慶 弔 費	100,000	100,000	0
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	60,000	60,000	0
				委 員 会 活 動 費	100,000	100,000	0
				中 央 学 院 連 合 協 議 会 々 費	10,000	10,000	0
				新 入 生 ・ 卒 業 生 記 念 品	400,000	400,000	0
				学 校 設 備 補 助 金	100,000	100,000	0
				学 校 一 般 寄 付 金	100,000	100,000	0
				雑 費	50,000	50,000	0
				予 備 費	100,000	100,000	0
				履 年 奉 養 費	2,540,000	5,000,000	△2,460,000
基 本 財 産 運 用 収 入	48,000	49,000	△1,000	次 年 度 繰 越 金	7,085,189	1,792,663	5,292,506
計	11,515,169	8,682,663	2,832,506	計	11,515,169	8,682,663	2,832,506

※同期会補助—同期会(クラス会でないもの)の年間補助1回10,000円。  
※同好会補助—年間補助1回20,000円。  
※スポーツ奨励金—中央高校のスポーツ充実・発展を図る為生徒・運動部に対して補助金を支給する。  
※令和3年度新入生—217名(入学時に入会金10,000円)  
※令和3年度3年生—146名(卒業時會費10,000円)  
※令和3年度120周年事業として2,540,000円を計上しております。



**中央学院大学**  
**中央高等学校**

### ☆一年研修旅行

一年B組 横松 晃輝

研修旅行は、二泊三日で千葉県鴨川市に行きました。私はこの研修旅行を通して、たくさんの人と話すことができたり、色々なことを学んだりすることができました。

一日目は、自己紹介をして自分のことを知ってもらうのと同時に、クラスのみんなを知ることができました。他にも、建学の精神や校歌を覚え、建学の精神と校歌は覚えるのにとても時間がかかりましたが、学校生活を送る上でとても大切なことだと思います。

二日目は、マザー牧場で飯盒炊爨をしました。飯盒炊爨では初めて話をする人も増え、一日目に仲良くなった友だちとはより一層仲良くなることができました。そして、班で作ったカレーライスは、班のみんなで作ったこともあり、とても美味しかったです。

三日目は、係や委員会決めをしました。私は高校に入学したら、自分自身

を変えようと思っていたので、クラス委員に立候補し、無事にクラス委員になることができました。

そして、私にはもう一つ高校入学後にやりたいことがありました。それは生徒会です。生徒会役員を務めることで自分自身を変えることももちろん、自分自身の成長にもなると思ったからです。研修旅行後の生徒会役員選挙では会計に立候補し、選挙で信任されて役員を務めることになりました。

私は入学前、友だちができるかどうか心配でしたが、この研修旅行を通して、色々なことを学ぶと同時に、友だちができた、自分を少しでも変えたりすることができました。新型コロナウイルス感染拡大が心配される中でも研修旅行に行くことができて良かったと思いました。

## ☆一年研修旅行

一年E組 石田 七虹

入学して間もなく、私たち第一学年は、研修旅行に行きました。

今回の旅行で得られたことは三つあります。一つ目は友だちです。中学生の時は、同じ小学校から進学した人がたくさんいたので、一から友だちを作る経験はあまりありませんでした。高校は、色々な地域から生徒が集まるので、最初は「友達ができるかな」、「上手くやっていけるかな」などたくさん不安がありました。しかし、二日目のカレーライス作りをきっかけに、そ

の不安はすっかりなくなりました。薪に火をつける担当、具材を切ったり炒めたりする担当など、様々な役割がありました。お互いに声をかけあって、自然と笑顔も増えました。その時のみんなはキラキラと輝いていて、少しづつではありますが、お互いの心の距離が縮まったように思いました。研修旅行がなかったら、ここまで学年やクラスの人などの仲が深まるとは思えません。

二つ目は思いやりです。カレーライス作りの片付けの時、排水口に大量の生ゴミがあることに気付きました。その時自分にできる事は何かと考え、自分の班が使った水道場だけではないところも、私がいかにしようと思いましたが、自分が係以上の仕事をそこまでやっていたのかなど不安でしたが、そんなことを言う子は誰もいなく、それどころか手伝ってくれました。みんな、思いやりでいっぱいです。

三つ目は感謝です。コロナ禍となつてから、日常でできないことがたくさんあります。だからこそ、このような機会を作ってくれた先生方や、送り出してくれた家族にとっても感謝しています。そのおかげで、素敵な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

最後に、皆さんのおかげで今、学年委員長を務めています。研修旅行で学んだことを、日常の学校生活に活かし、悔いのない高校生活を送りたいと、この研修旅行で決めました。

## ☆生徒会

生徒会長 二年B組 齋藤 柚月

校友会の皆さま、こんにちは。この度生徒会長に就任いたしました齋藤柚月です。よろしくお願ひいたします。

私が選挙で掲げた公約は、笑顔あふれ、楽しいと日々思えるような学校作りをしていくことです。そのために、目安箱を各階に設置することや全校生徒に向けてアンケートを実施し、回答内容を踏まえてより過ごしやすい学校にしていきたいと考えます。

去年と同様に新型コロナウイルスの影響で様々な行事が例年と異なる形での開催となっておりますが、このような状況でも私たち生徒は楽しみながら行事に積極的に取り組んでいます。

また、昨年度から新しく取り入れた本校のInstagramを活用し、生徒会の活動や学校生活を楽しむ生徒の姿を紹介していますので、校友会の皆さまもこの機会に是非ご覧ください。

前生徒会長は誰にでも気遣いのできる方でした。私もその姿勢を見習い、困っている人に手を差し伸べられるようにしていきたいと考えます。

最後になりますが、今後大きな壁にぶつかることがあったとしても今までしてきたことに自信をもって立ち向かい、中央高校をさらに素晴らしい学校へと近づけていきたいと思ひます。







## ☆部活の紹介

### ○硬式テニス部の活動

「令和三年度 私立第六支部  
高校テニス大会を終えて」

令和三年度 私立第六支部  
高校テニス大会を終えて

三年A組 鈴木 聖夫

私は、八月十八日に東金町運動場で行われた「私立第六支部高校テニス大会」に出場しました。

この大会は、東京私立中学高等学校協会に参加している第六支部の墨田区江東区、足立区、葛飾区、江戸川区から六校が参加し、行われました。

私は、今回の大会で二回目の出場、前回の大会は個人戦のダブルスの枠で出場し、結果は四位と、あと一步のところが入賞できず、とても悔しい思いをしました。今回は団体戦(ダブルス

一組、シングルス二組)のシングルス枠で出場しました。第一回戦はシード権を獲得し、迎えた第二回戦では、芝浦工業大学附属高等学校と対戦し、一勝二敗と負けてしまい、三位決定戦に進み、日本大学第一高等学校と対戦し、勝てれば入賞というプレッシャーの中で、二勝一敗で三位に入賞することができました。

私は、このチームのキャプテンとしてのプレッシャーに押しつぶされず、三年間続けることができたのは、チームメイトのおかげであり、私は彼ら一人一人に感謝するとともに、彼らを誇りに感じています。

試合が終わり、賞状を受け取ったとき、勝利を実感すると同時に、三年間の部活の終わりを実感しました。コロナ禍で練習が充分にできなかったり、試合が中止される中でも練習を続けてきました。私はこれからの硬式テニス部を期待しつつ、後輩たちに協力していきたいと思っています。



### ○サッカー部

「高校三年間の  
部活動を終えて」

部活動を終えて」

3年E組 伊藤 航太郎

私は三年間部活動で、努力し続ける力や統率力を養うことができました。

入学当初、同年年の部員は二十人いましたが、夏の大会が終わると五人になつてしまい秋の新人戦や春の関東大会予選に出場することができなくなつてしまいました。しかし、それでも厳しい練習に負けず、努力してきた人が残つたのでチームで励まし合いながら毎日練習を続けることができました。

練習を続けたことで私は二年生の夏から部長を務めました。初めは部長としてチームを引っ張っていくことがとても難しく、大変な時期もありました。しかし、その時だからこそ自ら率先して挨拶をすることや積極的にコミュニケーションをとることを行ってきました。その結果、一年間を通して部長としての信頼を少しずつ得ることができました。

部活動三年間で公式戦には一度も勝つことはできませんでしたが、部活動で仲間と協力して努力し続けて何かを成し遂げる達成感や、上下関係の大切さ、コミュニケーションの取り方など、今後の自分の人生において大切なことの基礎を学ぶことができました。

三年間、サッカー部を続けたかけがえない仲間はそれぞれ違う進路へ進みます。私は、彼らがどんな環境でも

しっかりと自分の目標に向けて努力し続けることができると信じています。だからこそ、自分自身も互いの進路こそ違えど次の環境で彼らに負けたくないよう自らの目標に向かって努力し続けていこうと思います。



### ○アジアユース

パラ競技大会に向けて

一年A組 遠山 勝元

私は十二月に行われる「バーレーン2021 アジアユースパラ競技大会」の陸上競技大会に日本代表として選出されました。私はT54のクラスで100m、200m、400mの三種目に出場しますが、この大会の抱負は三つあります。



一つ目は、自分の全力を出し切って上位に入賞することです。今大会はこれまで私が参加してきた大会とは規模が違うため、出場するにあたって今までの倍以上の練習をしてきています。練習の成果をしつかりと出せるように準備し、自己新記録を出して上位に入賞できるように頑張ります。

二つ目は、初めての海外での国際大会を無事に終えることです。私にとって初めての海外遠征であり、親も付いてこないのでも緊張すると思いますが、高校生になったので自分の身の回りのことをきちんとできるようにしたいです。そして、日本代表に選ばれたという自覚を持って、誰から見られても恥ずかしくない行動を意識しようと思います。

三つ目は、この大会を楽しむことです。今大会では初めて海外の選手と一緒にレースをします。言葉の通じない人と話す機会があるかもしれませんが、そのような場面も含めて大会の雰囲気を楽しみたいと思います。そして、今大会にはバドミントン、水泳や卓球などの他競技の選手も選手団として一緒に行動するので、いろいろな選手とコミュニケーションを取ることも楽しみたいと思います。

最後になりますが、今回のアジアユースパラ競技大会出場にあたり、校友会からはご支援をいただきました。ありがとうございます。帰国後に皆さまに良いご報告ができるように、頑張ります。



## ☆体育祭

3年A組	福田	澤月
3年C組	大城	きせら

今年度の体育祭実行委員長を務めました3年A組福田澤月と3年C組大城きせらです。

今年度の体育祭は、新型コロナウイルスの影響により9月に開催予定でしたが延期となり、十月十九日(火)に午前のみ全校生徒で実施という異例の開

催となりました。当日は、雨が心配され中止も頭をよぎりましたが、朝のうちは雨が残ったものの、その後は雨が降ることもなく実施できました。

今年度の体育祭実行委員のコンセプトは、先生方に任せるのではなく、実行委員長・副委員長が中心となって行うということになりました。

しかし、色々なアイデアをだし、実行しようと会議を開いたり、実行に移すため試したりしていた矢先、新型コロナウイルスが猛威を振るい、会議をしたり、自分たちのアイデアが実行に移せるかを試す機会も学校に登校することさえ許されなくなりました。十月になり急ピッチで準備を始めましたが、話し合う機会も少なく、充分とは言えない状態でした。また、先頭に立って私たちが確かな指示ができず、改めて人前に立つて指示することの大変さを実感するとともに、自分の能力のなさを実感しました。

体育祭当日は、皆が楽しく全力で頑張っている様子を見て、準備の時の苦労も忘れてしまうぐらいで、体育祭実行委員長として体育祭をやり切った気持ちになりました。大変なこともあり、不安になったこともありましたが、体育祭実行委員長になり本当に良かったと思います。今回失敗したこと全てを将来に活かしたいと思います。

この体育祭を開催するにあたり協力してくださった皆様に感謝いたします。有難うございました。





## ☆中央祭

「中央祭を終えて」

三年D組 有岡 優斗

今年の中央祭は、新型コロナウイルスの影響もあり、例年とは大きく違う中央祭となりました。スローガンは、「中央祭実行委員会で話し合い、「万里一空」になりました。このスローガンには、コロナ禍での中央祭の成功に向けたクラスの仲間と協力し合うことが大切だ」という想いを込めました。

実行委員の活動は例年とは違い、遅めのスタートになりましたが、スローガン決めや係決めを着々と進め、各班が一丸となり、中央祭の成功に向け準備が進みました。なかでも、校内の装飾は、例年よりも規模は小さくなくなってしまいましたが、スローガンボードや階段アートは完成度が高く、とても立派で素晴らしい装飾になりました。

今年の中央祭の各クラスの企画は、動画作成・黒板アート・展示アート等を見て楽しむ展示物中心となりました。中央祭当日は、友達とタブレットで写真を撮ったりして楽しんでいる様子をたくさん見ることができました。

また、生徒会によるミツケ(宝探し)や実行委員のスタンプラリーは多くの生徒が参加して、楽しんでいました。

今年の中央祭は、実施できるか不安でしたが、私にとって高校生活最後の中央祭を実施でき、来年に繋がる中央祭だったと思います。



## 「コロナ禍の最上級生」

三学年主任 庄司 俊介

二〇二二年十一月、新型コロナウイルスの影響もようやく落ち着いてきた頃、三年生のある生徒と、こんな話をしました。その生徒はあるクラブの部長で、こんなことに悩んでいました。

「先生、後輩に教えるって難しいですね。私たちは何を残せるのでしょうか？」という内容でした。コロナ禍で





満足に練習できない日々が続く、先輩から受け継がれていたクラブの伝統が途切れそうになっているということでした。私はふと考え、「これから何かを残すことは難しいけど、その後輩がきちんと考えて、自分の正しいと思つた方向に行動できるようにしたら良いのでは？」とアドバイスしました。現在の二年生は通るべき道、経験すべき出来事が、他の学年に比べて、少ない可能性がありますが、もちろん、個人差はあるとは思いますが、通常通りの学校生活を送ることが難しかったと思います。その部長の悩みもそのような中だからこそ、出てきたものなのかもしれません。このような状況だからこそ私は思うのです。今こそ、自分で考えて正しいと思つた行動を心がける事が必要だと。価値観は人それぞれですから、正しいと思つた事は人によって違うかもしれませんが、しかし、その生徒が自分で考え、行動する事が成長につながることであり、将来の道を切り開く力になると私は思っています。

三年生は進路開拓の時期です。自分が進むべき道を一生懸命、あがきもがき受けたがきながら探しています。やはり、新型コロナウイルスの影響で、面接がリモートになったり、試験日がずれたり、対応に追われています。それでも、諦めずに努力する姿が、自分で考え、行動することに他ならないと私は思いました。



## 「情報の往来」

進路指導係主任 小林 広一

今年の春より、進路の主任として担当しております。進路は、言うまでもなく生徒の次の進路が叶うよう、指導・計画をする分掌です。

進路というポジションは、担任のよう毎日直接話ができるわけではありません。そこで、私は新聞を書くことにしました。全校生徒とその保護者に対し、隔週ではありますが新聞を通じて、進路が叶うまでのアプローチや備えについて紙とオンラインで並行して発信しています。

また、昨年引き続き、中学生とその保護者向けに YouTube による進路状況を配信しました。これは、入試説明会で十分な時間がとれないこと、広く本校の状況を知ってもらう目的で作成しました。YouTube で「中央学院大学中央高校 進路」と検索していただくとトップに出てきます。最近の進路状況が丸々報告されていますので、ぜひご覧ください。



校内の状況はといいますと、各学年



の進路ガイダンスはおおむね予定通り実施できています。昨年度はコロナウイルスの関係で実施できなかった「学院大の見学会」も予定通り実施できました。一年生と希望される保護者が参加し、学院大の市川学長、入試広報課の方々からお話をいただきました。生徒は、初めて大学に足を運んだ生徒も多く、規模の違いに驚いておりました。

今年も学院大への付属校推薦により多くの生徒が受験します。また、学院大は懐が深く、他大学への併願という制度も設けていただいております。これにより、受験の機会が広がるばかりでなく、生徒の安心感にもつながっています。

就職は希望者が少ないのですが、毎年多くの求人票が学校に直接届きます。中には実際に担当の方が足を運ばれ、お話を伺う機会もありますが、「中央高校の卒業生が在籍しており、がんばっ



ているのでぜひ！」という話もいただきます。校友会の方々の活躍が在校生にも大いに響いていると実感する場面です。引き続き、中央高校を見守っていただければ幸いです。



## 中央学院高校

### 「中央学院高校の近況」

教頭 藪島 正基

令和3年4月、男子214名・女子156名、計370名の新入生が学院

校に入学しました。中学校時代、コロナ禍の中で、様々な制限がかけられ、通常の教育活動ができなかった生徒たちです。この生徒たちが、なるべく通常の教育活動がおこなえるよう配慮しようという考えから、まず入学式を午前と午後に分散しておこないました。入学式は何事もなく無事終了しました。しかし、コロナには勝てません。入学して最初の行事、オリエンテーション研修が中止となりました。その代わりとして8月に林間学校を計画していましたが、それも取りやめになりました。また、3年生の修学旅行の代替の遠足、さらに9月に予定していた学院祭も中止、といった状況です。

8月の後半、コロナ感染が異常に拡大してきました。本校では、8月26日から新学期を予定していましたが、始業式を9月1日に、しかもその後は、1クラスを2分しての分散登校で対応しました。朝はリモートでの全員のHR。慣れないことなので、最初は教員も生徒も戸惑っていたようですが、数日でかなり定着してきました。リモートの利便さはわかりましたが、やはり対面での重要性をあらためて実感しました。本校でもコロナ感染者が数多く出て、その対応に初めは右往左往していますが、教職員一同、様々な面で協力し合い、無事乗り切ることができました。緊急事態宣言が解除された後は、平常の生活に戻りつつあります。入試説明会も予定通りおこなわれています。

このままコロナが終息することを願います。

### ☆行事 (体育祭)

晴れ渡る青空の中、2学期の行事第一弾、体育祭が10月29日、予定通りおこなわれました。今までの鬱憤をほらすように、そこには生徒たちの



## (校技大会)

11月17日校技大会日の模様です。生徒たちは元気いっぱい。真剣な姿が頼もしく感じられました。日常の鍛錬の成果が十分に発揮された試合でした。また、各クラスの団結力も加わり、コロナを吹き飛ばすような白熱した勝負をみることができました。



## (生徒会の日)

11月18日は生徒会の日です。部活動の演技、芸能人のステージ披露等とても盛り上がりました。学院祭がなくなつた穴埋めはできたのでしょうか？ゲストにはお笑いコンビの流れ星ちゅうえいさんとTAKIUEさん、シンガーソングライターの井上苑子さんが登場しました。



## ☆部活動活動報告

### 陸上競技部

日本代表選手選考競技会出場  
インターハイ出場  
第74回千葉県高等学校総合体育大会  
男子3000M 標準記録突破  
令和3年度全国高等学校総合体育大会  
陸上競技大会  
男子1500M 男子5000M 競歩

### 男子バドミントン部

インターハイ出場  
第74回千葉県高等学校総合体育大会  
バドミントン競技  
男子団体・男子ダブルス・  
男子シングルス すべて優勝  
令和3年度千葉県高等学校新人体育大会バドミントン競技  
男子学校対抗 第3位  
男子個人 優勝  
男子ダブルス 優勝 準優勝  
\*個人・ダブルス  
令和3年度関東高等学校バドミントン大会出場決定  
\*個人  
令和3年度第20回日本バドミントンジュニアグランプリ2021大会出場内定

### 男子バレーボール部

国民体育大会出場  
国民体育大会千葉県大会ビーチバレー競技(国体千葉県予選会)  
優勝及び準優勝



## 野球部

第103回全国高等学校野球選手権

千葉大会

BEST4

## サッカー部

第100回全国高校サッカー選手権大会

会千葉県大会

BEST8

## 書道部

第70回千葉県小中高校席書大会

県知事賞(最高賞)受賞

## ★在籍者数(2021・4現在)

	1年	2年	3年	合計
男子	214	176	209	599
女子	157	115	138	410
計	371	291	347	1,009

## 中央学院大学の近況

### 中央学院大学

#### ◆新型コロナウイルス感染症への対応

2020年2月18日に学長を本部長として立ち上げた「新型コロナウイルス

ルス感染症危機対策本部」を中心として、学生及び教職員等の関係者の健康、安心・安全を最優先に、また、感染症拡大を防止するという社会的な責任を果たすことを基本として今年度も様々な取り組みを進めてきました。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった学位記授与式と入学式でしたが、今回は式典を午前(大学院と商学部)、午後(法学部と現代教養学部)に分け、座席間隔を十分にとり、感染対策を徹底して開催することができました。

また、春semester(前期)の授業においては、原則として対面で実施するという方針のもとでスタートしました。しかし、4月25日に一都三県に対して「緊急事態宣言」が発令されたことに伴い、全ての授業をオンラインによる遠隔授業へ切り替えました。6月からは原則としてオンラインによる遠隔授業とし、大学が教育上必要であると判断した一部の科目については、対面による授業を行いました。

秋semester(後期)スタート時は、これまでに経験したことのない感染拡大の状況であり、医療が極めて逼迫している状況であったことから10月15日(金)まで全ての科目においてオンラインによる遠隔授業を実施。その後、「履修者数100名以下の科目においては原則対面授業を実施」を経て、11月8日より全ての科目において対面授業を再開。今年10月にリニューアルされた学生会館Via前の広場などで、食事

や会話を楽しんだり、読書をしたりする姿も多く見られ、キャンパスも賑わいを取り戻しました。

#### ◆駅伝部「第98回箱根駅伝予選会」・「第53回全日本大学駅伝」結果

(箱根駅伝予選会)

10月23日に行われました「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会」が東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地内を周回するハーフマラソン(21.0975キロ)のコースで41チームが参加して行われ、本学駅伝部は総合7位(10時間43分08秒)となり、2年ぶり22回目となる「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走」への出場権を獲得しました。

(全日本大学駅伝)

11月7日に行われました「秩父宮賜杯第53回全日本大学駅伝対校選手権大会(全日本大学駅伝)」において、駅伝部は出場27チーム中11位(5時間19分09秒)でゴールしました。残念ながら、上位8位までに与えられる次回大会のシード権獲得とはなりませんでしたが、新春の箱根駅伝への手応えを感じた大会でもありました。

#### ◆硬式野球部「横浜市長杯争奪第17回関東地区大学野球選手権大会」初優勝

硬式野球部は、10月10日に行われました「千葉県大学野球秋季リーグ(一部)」最終戦、城西国際大学戦を3対1で勝利し、季ぶり通算15回目の優勝(春季7回、秋季8回)を果た

しました。この結果、横浜スタジアムで行われた「第17回関東地区大学野球選手権大会(関東地区大会)」へ出場(3年連続7回目)しました。11月2日の初戦である白鷗大学戦を3対1、翌日の準決勝、東海大学戦を9対5で勝利。そして11月4日の決勝戦では、神奈川大学を相手に5対1で勝利し、見事に初優勝を果たしました。この結果、秋の日本の座をかけて11月20日から始まる「第52回明治神宮野球大会」に出場(19年ぶり3回目)します。

#### ◆ゴルフ部(男子)「第65回信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦」全国6位

10月28・29日に千葉カントリークラブにて開催された秋の大学日本一を決める団体戦「第65回信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦」が行われ、6位の成績をおさめました。春の全国大学ゴルフ対抗戦では12位でしたので、大きな躍進となりました。

#### ◆サッカー部(男子)「第54回関東大学サッカー大会」出場

千葉県大学サッカーリーグ戦(一部)にて5年ぶり6回目の優勝を果たし、「第54回関東大学サッカー大会」に千葉県代表として出場しています。この大会は関東2部リーグへの参入戦となり、東京都より2校、千葉県・神奈川県・埼玉県・北関東地区より各1校の全6校が出場し、総当たり戦を行います。上位2校が関東2部リーグに



昇格、3位校は関東2部リーグ10位の大学とプレーオフを行い、勝利した場合に昇格します。

### ◆サッカー部(女子)「関東大学女子サッカーリーグ戦(3部)」初優勝

11月7日に行われた立教大学戦を2対0で勝利し、「第35回関東大学女子サッカーリーグ戦(3部)」にて初優勝を果たしました。リーグ最終戦(11月20日(土)、対山梨大学)を経たのち、12月5日(日)の「2部入替戦」に出場します。



リニューアルされた 学生会館前の広場

## 「箱根駅伝に向けて」

駅伝部コーチ

尾上 岳史

「校友会」の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より私ども駅伝部にご支援・ご声援をいただき、厚く御礼申し上げます。

まずは10月23日(土)に行われました「第97回箱根駅伝予選会」において本学は総合7位となり、2年ぶり22回目となる本戦への切符を掴み取ることが出来ましたことをご報告させていただきます。昨年度、予選会トップ通過の1校に数えられながらも総合12位の結果で、本大会への出場を逃したからのこの1年間、予選突破のことだけを考えて過ごしてまいりました。しかし、他大学のレベルアップに対抗するため練習の強度を大幅に上げたことにより、夏には主力選手のほとんどが故障してしまい、主力選手の大半が不在のまま夏合宿に突入するという異常事態をむかえてしまいました。更に追い打ちをかけるように体調不良者も続出し、もはやチームとして体をなさないほど底の状態となり、日々時間だけが過ぎていきました。それでも学生たちは諦めていませんでした。10月に入り予選会まで1か月を切り、ようやく7割程度の戦力まで戻すことができ、何とか戦う形を作って挑んだ予選会で、薄氷を踏む思いではありましたが2年ぶりの本大会への出場権を

獲得することが出来ました。ただ、本大会への切符は手にしたものの、やはり今なお故障から回復していない主力選手の1日も早い復活がないと、本大会でシード権以上の戦いをするのは夢物語です。

そして、箱根駅伝予選会から2週間後の11月7日(日)に行われた秩父宮賜杯第53回全日本大学駅伝対校選手権大会では、予選会からの調整期間の短さと、主将の小島慎也(法3)をはじめ、これまで主要大会で力を発揮してきた松島匠(法3)、中島稜貴(法3)、堀田晟礼(法1)などの主力選手が使えなかったことが響き、1区から出遅れると1度もシード圏内(8位)の争いに絡むことなく総合11位という結果に終わりました。しかし、5区以降を走った選手はすべて区間10位以内にまとめ、単独走の苦しい中でも大崩れせず順位を上げられたことは、箱根駅伝に向けて期待を持たせる走りでした。また、全日本大学駅伝の前日に行われた平成国際大記録会では、1000mに出場した19名中16名が自己記録を更新し、チームとして着実に良い方向へ向かっていると確信しております。

箱根駅伝本戦まで2か月を切り、まずは12月10日(金)の箱根駅伝チームエントリー(16名)で、主力の故障なくベストメンバーを揃えられるようにしたいと思えます。そして、新春の「箱根駅伝」では、**新ユニフォーム**となった『中央学院大学旋風』を巻き起こせるようにしたいと思います。



末筆にはなりましたが、校友会の皆様方の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。お正月の『箱根駅伝』では、部員一丸となって挑みますので、ご声援の程、宜しくお願ひ申し上げます。



## 校友会のつぎ

令和2年12月27日名誉会長に1年間の報告をし、ミニの納会を会費制でいたしました。寺嶋名誉会長・佐藤会長・谷本副会長・中島常務理事・梅津会計理事の5名です。



ミニ納会 浦安 丸よし

## ☆同期会補助金

今年度は利用無しでしたが、卒業生の皆様には、同期の会合を開く場合に校友会から補助金が出ますのでご連絡下さい。

## 令和4年の合同新春懇親会

新型コロナウイルス感染予防のため中止です。

コロナウイルスの終息致しましたら、120年の祝賀会を兼ねて行いたいと考えます。

## 「中央高校の教育整備費に係るご支援のお願い」

令和2年(2020)に創立120年を迎えるに当たり充実した教育環境実現を図ると共に運動系・文化系クラブの活動を継続的にサポートし教育強化を進めて行くことを目的として始められました。日本の経済状況が先の見えない厳しいところがありますが、母校発展のためにご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご賛同の方は、あらかじめ学校に連絡頂ければ振込用紙を本人宛に郵送いたしますので活用ください。

創立120周年記念誌を校友会ホームページに掲載(120年史電子ブック)してありますのでご覧ください。

中央学院大学中央高等学校のホームページより校友会をお探し下さい又は左記へ

cguch-alumni.org



## 「校友会費の説明並びに納入のお願い」

校友会費については、昭和五十八年十月二十日で会則が改定され、現在は次のようになっていきます。

年会費 三,〇〇〇円  
特別会費 二〇,〇〇〇円

昭和五十年十月の改定で終身会費二〇,〇〇〇円を決定いたしました。以降これを特別会費とさせていただきます。勿論過去において終身会費として二万円を納入して下さいた方は、そのまま終身会員の取扱いをさせていただきますのは当然でありますが、諸事高騰の折柄お願いとして年会費も御払込願えれば幸いです。今後は年会費で通常経費をまかない、特別会費分は基金として積立て、将来学校のお役に立てたいと考えています。

現在会費の未納が多く、基本財産を取り崩している状態です。

どうか皆様  
基本財産として特別会費  
一金 二万円  
亦是運営費として年会費  
一金 参千円

を左記宛ご納入下さいますようお願い致します。

尚、同封の郵便振込票(振込手数料無し)でお振込み下さる場合は、通信欄にコード番号をご記入下さい。

郵便局

東京 〇〇一三〇一五一一一九  
三井住友銀行 日本橋東支店

〇三四一七二五〇〇六九

宛名 中央学院校友会

本部住所 〒一三六〇〇七二

江東区亀戸七六五一一二

TEL 〇三二五八三六七〇二〇

## 編集追記

中央学院大学野球部が、11月25日(木)に明治神宮球場で行われた「明治神宮外苑創建95年記念 第52回明治神宮野球大会」の決勝にて、慶應義塾大学(東京六大学野球連盟代表)に9対8で勝利し、初優勝を飾りました。19年ぶり3回目の出場での初優勝。(明治神宮野球大会ホームページより)

中央学院大	TIME	JUGE	B	S	O	AV	HR	明治神宮外苑創建九十五年記念 第五十二回明治神宮野球大会 決勝	慶應義塾大
8	山田	2	3	1	0	1	0	2	2
7	佐藤	2	2	0	0	1	0	2	0
6	高木	2	2	0	0	2	2	5	0
5	山下	0	1	1	0	0	0	2	3
4	仲山	1	1	0	0	0	0	2	1
3	中野	0	0	0	0	0	0	2	0
2	藤野	0	0	0	0	0	0	2	0
1	廣川	0	0	0	0	0	0	2	0
0	山崎	0	0	0	0	0	0	2	0

